



流域下水道整備事業

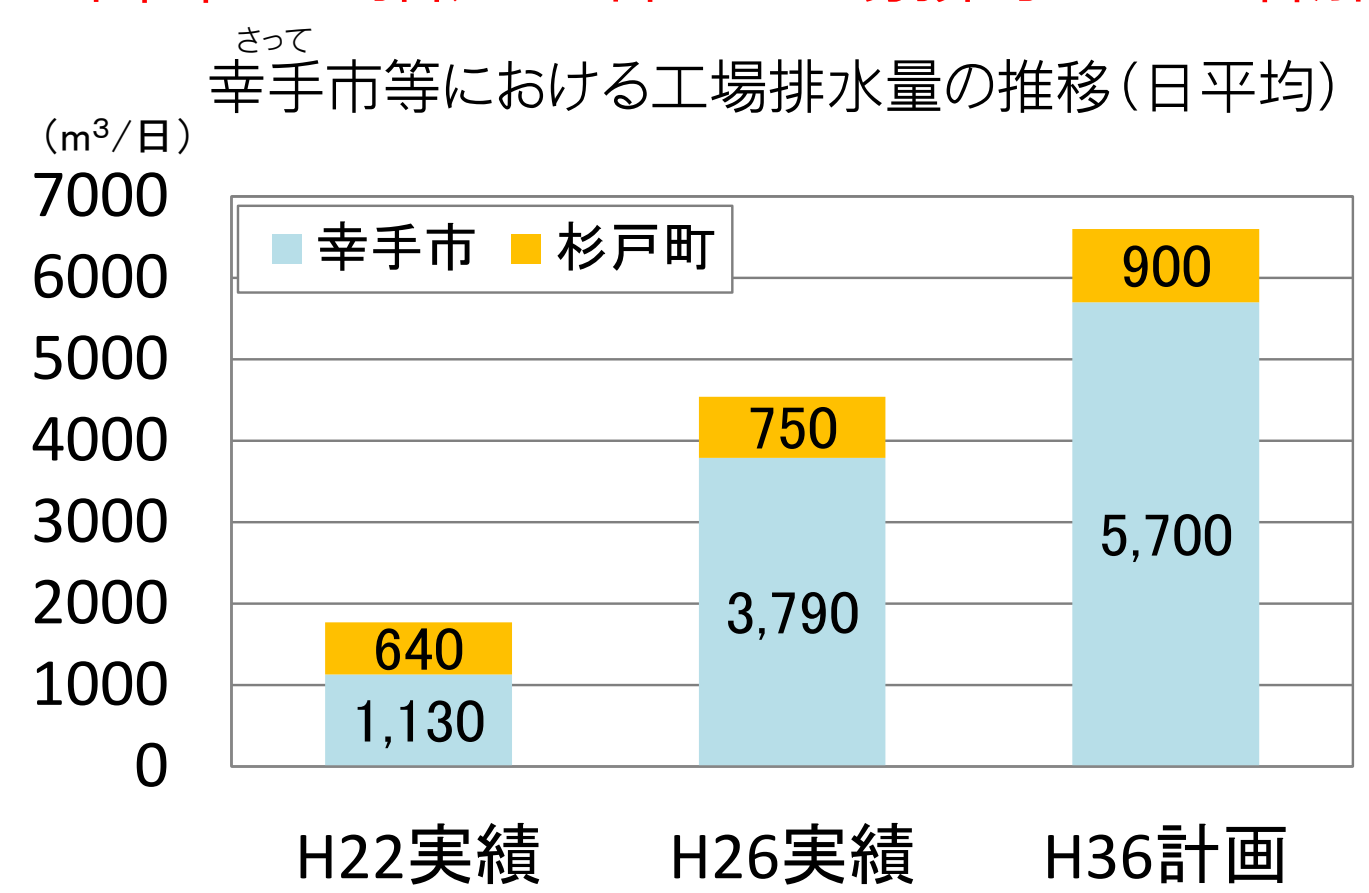
下水道が圏央道沿線の未来を支える！

現在 now

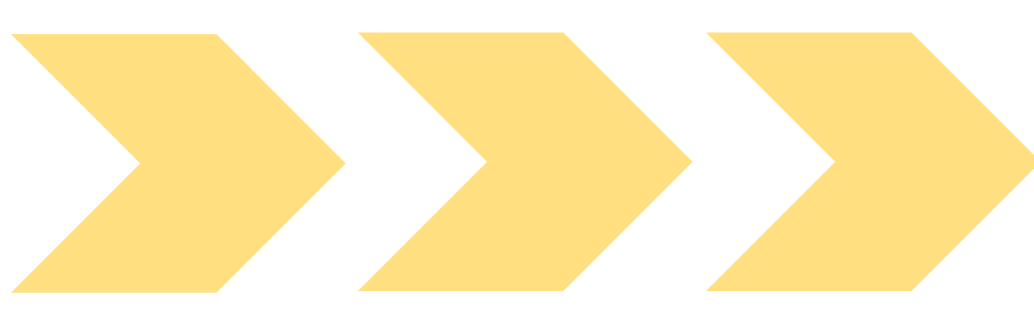
将来 future

インフラ

産業団地の指定に伴い工場排水量が増加



計画的な下水道整備



工場排水を適切に処理

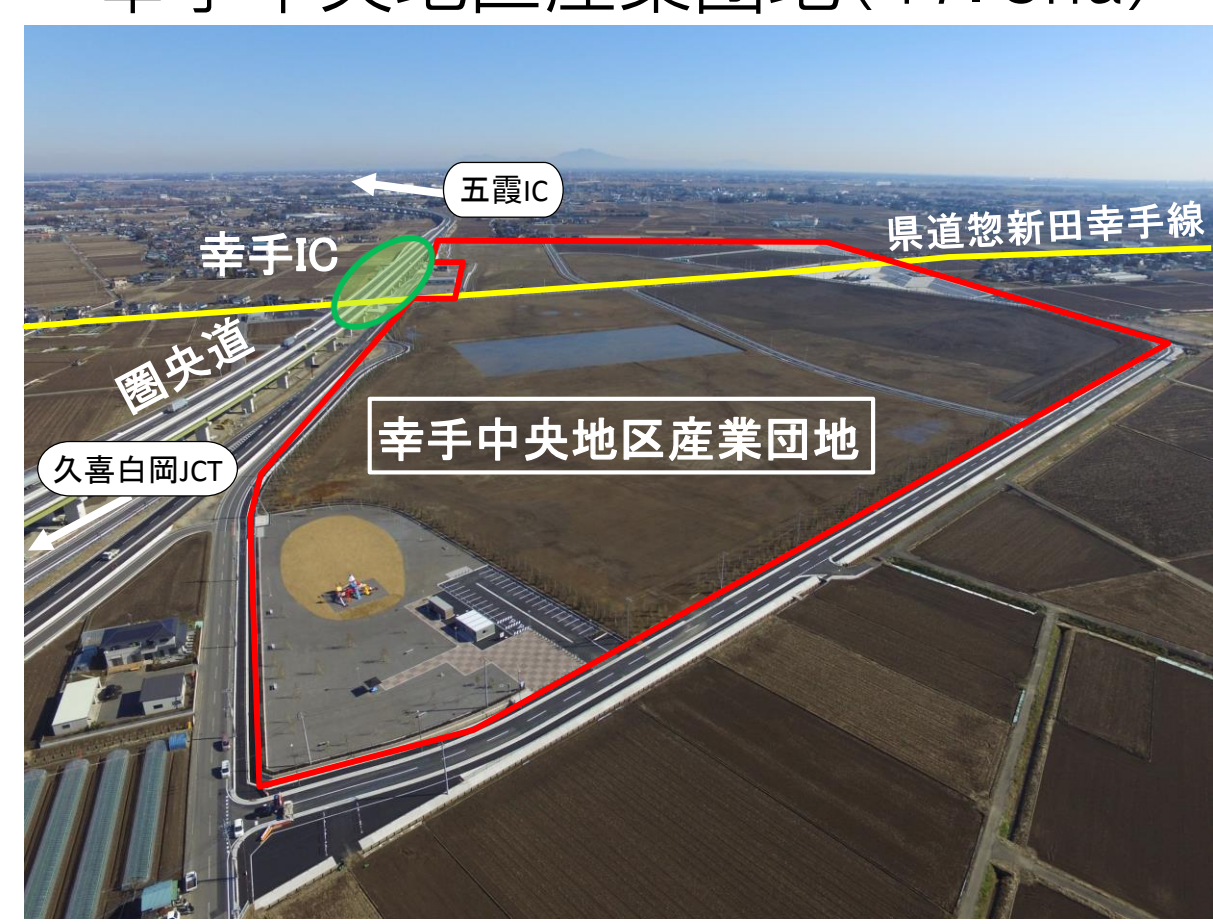


幸手中央地区産業団地の例

平成29年 完成予定

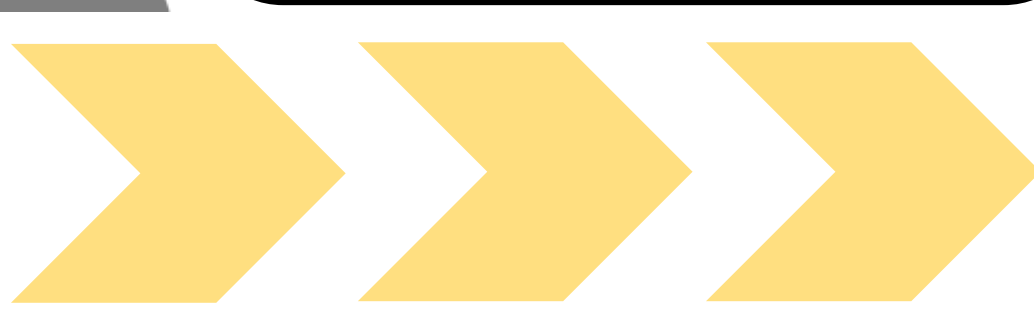
地域

幸手中央地区産業団地(47.3ha)



〈自治体の声〉

既存の道路や、下水道等の都市インフラを生かせる企業や産業の誘導を行える産業基盤づくりを進めます。
(埼玉県 田園都市づくり課)



幸手中央地区産業団地の完成イメージ

平成29年 2団地で操業予定

埼玉県内の圏央道開通(H27.10)により、沿線の企業立地が好調

新たな産業団地の指定に伴い、工場等からの排水量増加が予想

計画的な下水道整備により、大量の汚水処理が可能となり、**圏央道沿線への工場等の立地促進**など、一層の**産業発展・雇用創出**に寄与

